

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 デイリーはやしや					
代表者名	氏名	松田 好功	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県松本市和田南西原4010-28					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	09 食料品製造業				
主たる事業の概要	コンビニエンスストア向け商品の企画開発・製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	3,128	3,034	3,529	3,563	3,431
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	6,348	6,157	7,169	7,252	6,980
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	345		233	79	349
自動車の台数	台	13		14	14	15
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	36				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～ 2022 年度
------	------------------

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

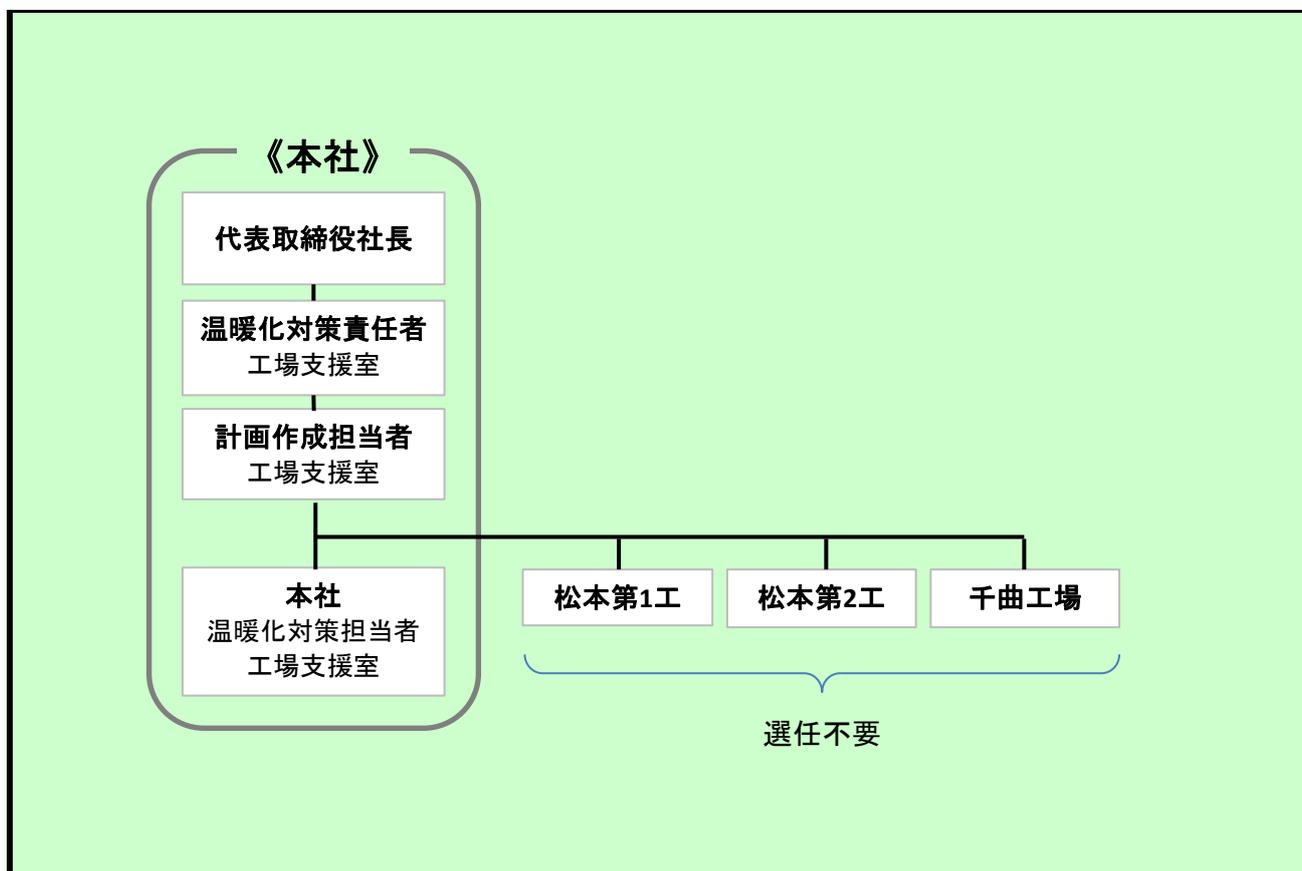
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	場 所 : 本社 時 間 : 月～金曜日 10時～17時 担当部署 : 総務・リスク対策室 連絡先 : 0263-48-1611
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

エネルギー消費原単位を中長期的にみて年平均1%以上低減を目標に活動を行う

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

全社環境エネルギー管理委員会（原則4回/年）、必要に応じ都度開催
省エネ推進委員会（工場ごと12回/年）

※省エネ法の会議と共通

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	6,348	t-CO ₂	売上	7.54	単位	十億円
2019年度	調整後排出量	6,348	t-CO ₂	基準原単位	841.91	t-CO ₂ /	十億円
目標年度	目標排出量	6,157	t-CO ₂	目標原単位	816.65	t-CO ₂ /	十億円
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	3年間で3%の削減を目標にする						
第一年度	排出量	7,169	t-CO ₂	売上	8.40	単位	十億円
	削減率	-12.94	%	原単位	853.45	t-CO ₂ /	十億円
2020年度	調整後排出量	7,169	t-CO ₂	原単位削減率	-1.38	%	
	削減率	-12.94	%				
排出量等の増減理由	<p>・年間通しての売上（生産数）が下がり、作業効率が悪くなった。また、商品カテゴリの変更により原単位が増えてしまった。 ※基準年度に会社分割があり、基準年度実績は約10.5ヶ月の合計としていたため、基準年度に比べ第一年度の排出量が多い。 (2019年：10.5ヶ月で売上7.54 2020年：12ヶ月で8.40)</p>						
第二年度	排出量	7,252	t-CO ₂	売上	8.58	単位	十億円
	削減率	-14.25	%	原単位	845.22	t-CO ₂ /	十億円
2021年度	調整後排出量	7,252	t-CO ₂	原単位削減率	-0.40	%	
	削減率	-14.25	%				
排出量等の増減理由	<p>・焼成アイテムが増えたため、エネルギーの使用量（排出量）が増えた。 ・新工場（新潟県小千谷市）立ち上げ対応のため、本社の車の使用が増えた。</p>						
第三年度	排出量	6,980	t-CO ₂	売上	8.72	単位	十億円
	削減率	-9.96	t-CO ₂	原単位	800.46	t-CO ₂ /	十億円
2022年度	調整後排出量	6,980	t-CO ₂	原単位削減率	4.92	%	
	削減率	-9.96	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<p>・松本第1工場で、売上（生産数）が上がり作業効率が良くなった。また、省エネ活動も効いている。</p>						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	345	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	233	t-CO ₂			単位	
	削減率	32.46	%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	79	t-CO ₂			単位	
	削減率	77.10	%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	349	t-CO ₂			単位	
	削減率	-1.16	%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	36	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	320301	熱利用設備に係る断熱の保全管理	2022	30.3	2021~ 2022	30.3
2	エネ起	380752	LED導入 (千曲: 2020~2022)	2022	3.9	2020~ 2022	3.4
3	エネ起	380752	LED導入 (第1・第2)	2020	8.9	2020	8.9
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	4	6,348	4	7,169	4	7,252	4	6,980
合計	4	6,348	4	7,169	4	7,252	4	6,980

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄	9	9	10	8
N ₂ O	64	65	69	60
HFC	272	159	0	281
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	345	233	79	349

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	4	6	9	9
合計	4	6	9	9
自動車総数	13	14	14	15
次世代車導入割合	30.8	42.9	64.3	60

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	特になし
自転車の利用促進	駐輪場を改修し、収容台数を増やした
来客者の交通対策	該当せず
物流の合理化	該当せず

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2020年
	名称	エコアクション21	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

<ul style="list-style-type: none"> ・2020年度にエコアクション21を取得（本社、松本第1工場） ・2021年度にエコアクション21範囲拡大（松本第2工場、千曲工場） ・2022年度にエコアクション21更新（本社、松本第1工場、松本第2工場、千曲工場） 環境経営レポートをHPから閲覧できるようにした。
--